

2017/4/14

(日々雑感 77 このお話は是で最後)



いま、北の国に関して一番考えられるのは、その国の軍隊内部の部下による反乱か暗殺でしょうか？デブの刈り上げくんの。

少なくともトランプさんの第一優先の狙いはそうではないかなと。

こんな記事が今日の日経に載っていました。米軍がアフガンのイスラム国に対して MOAB という爆弾を使ったと言う記事です。曰く

「第二に、現在対峙する北朝鮮へのメッセージという意味合いがある。北朝鮮は従来、米軍の空爆を受けてもイラクやリビアの独裁政権のように倒されることがないよう「軍施設の地下化」を広範囲で進めてきた。米軍は、主要な北朝鮮の地下施設の入り口の場所をある程度、把握しているとみられ、北朝鮮側も有事に攻撃されるリスクは感じているはずだ。

MOAB は爆発時に発生する爆風が通常規模の航空機搭載型爆弾とは桁違いで、これで攻撃されると地下深くにまで衝撃波が及ぶ。単に地下施設内の兵器が破壊されるだけでなく、中にいる兵士の脳が激しく損傷を受けて戦えない状態になる。北朝鮮軍に厭戦（えんせん）気分を広げようとする米軍の意図も感じられる。

第三の目的は、実戦使用によって実験では得られない様々なデータを得ることだ。同じMOABでも投下の仕方、爆発のさせ方、使用環境などで威力は異なる。トランプ政権は、空母派遣も含む各種の軍事的威圧で北朝鮮を対話に引き出せればよし、それがだめならば、攻撃という二段構えの姿勢でいる。今回の使用はそれに向けた予行演習でもあり、単なる威嚇とみるべきではないだろう」

この爆弾を米国が使用したことを知った軍部の、タダでさえ士気の下がっている部下が

「こりゃ、腹が減ったなんて言って住民の食料を強奪している場合じゃねえぞ。多少腹が減っても生きていけるが、こんな爆弾に穴蔵の中で吹き飛ばされて頭がおかしくなったら元も子もねえや。もともとあの刈り上げ野郎に忠誠心なんか持ちゃいねえ。逆らうと高射砲で処刑されそうだったから従っていただけだ。もう、このまま一緒に地獄へ行くのは、まっぴらだ。早いとこやっちまおうぜ」

恐らくトランプさんが狙っているのは、第三の目的の中の二段構えではなく、隠し球の三段目。是がすなわち、順番から言うと、第一段目。つまりびびった部下による巻き添え回避の

「反乱」をこの超爆風爆弾で隠しメッセージとして、側近の軍部部下に送ったのではないで
しょうか？

僕の読みはそんな風です。

そうすれば、米軍に犠牲者を出すこともなく、戦費を使うこともない。しかも、信託統治の
可能性が否応なく出てくる。

僕だったらそうしますが・・・闘わずして勝つためには。それが軍事兵法の真髄ですから。
深読みしすぎでしょうかね？

折しも明日は、その北の国のうんちゃら記念日とか。危なそうです。予想が外れた方が良い
と思っています。